

2010年企業連新春交礼会

1月15日「部落解放和歌山県企業連合会2010年新春交礼会」をダイワロイネットホテルで、多くの来賓をはじめ、企業連理事、県連執行委員の参加のもとひらいた。

年頭にあたり、瀧口秀光理事長より「日本経済



は、今なお厳しい状況が続いている。大企業には、国や金融機関による手厚い施策が実施されるが、部落の中小零細企業は自己資金が乏しく信用保証制度を利用した国や県の制度融資および政府系金融機関からの融資に頼らざるを得ない。県内では、土木建設業の大幅な公共事業の削減や入札制度の改正などにより、経営基盤の脆弱な部落の企業者にとっては危機的な状況に追い込まれている」という実態が報告された。

つづいて、中澤敏浩県連執行委員長、永井慶一商工観光労働部長、大橋建一市長からあいさつを受けたあと、懇談した。

▲来賓▼

- ▼和歌山県 永井慶一・商工観光労働部長、前裕健作・企画部長、岡本賢司・商工労働局長、藤本陽司・商工観光労働総務課長、丸山育生・商工振興課長、田中亨・産業振興課長、田畑嘉信・人権政策課長、北山芳宏・人権施策推進課長、瀧谷年克・商工観光労働総務課副課長、中平博・商工観光労働総務課総括課長補佐
- ▼和歌山市 大橋建一・市長、岩橋秀幸・市民環境局長、山本牧・まちづくり局長、富松淳・市民生活部長、南秀紀・市民活動推進部長、中谷友紀・産業部長、山本彰徳・まちおこし部長、中林憲一・まちおこし推進課長、小林俊次・人権同和施策課長

- ▼和歌山商工会議所 小倉正義・専務理事、上田賢司・中小企業相談所長
- ▼和歌山県商工会連合会 蓬臺孝紀・専務理事、下直正・事務局長
- ▼日本政策金融公庫和歌山支店 山崎浩二・支店長兼国民生活事業統轄 村上尚典・中小企業事業統轄、勝久郁夫・農林水産事業統轄
- ▼和歌山県信用保証協会 野添勝・理事長、杉本雅嗣・専務理事、水田順造・常務理事、楠山勝弘・常勤理事
- ▼商工組合中央金庫和歌山支店 桜井大介・次長
- ▼紀陽銀行 小上隆・本店人事相談室長
- ▼企業連顧問 税理士5人、弁護士2人、行政書士1人、
- ▼融資審査委員 1人 (順不同 敬称略)

第25回 人権講座 「ありのままの自分で」

第25回紀の川市人権講座を12月4日、古和田会館でひらき、支部員や行政職員など約40人が参加した。

藤範信彦・部落解放・人権行政確立要求紀の川市実行委員会会長のあいさつに つづいて、11月27日に放送されたNHK「さらっといさる」が上映された。次に産まれたときから顔にあざをもつ氏家志穂・F.U.C.I over (フクロパー) 代表、自身も白班をもつ野中孝夫・麦の郷紀の川岩出生活支援センター相談員、野中康寛・同センター長の対談ではじまった。「あざを認識したのはいつか」「街を歩いていてすれ違った時の視線はどうしてほしいか?」「されて嫌なこと?」と野中センター長の質問に、氏家さんは「すれ違わずに、もう一度振り返ってあざを見る人もいます。そんなことされたら悪い。会釈してくれたいの。友だちになりたいと思う」と訴えた。また野中さんは「悪意があるかな、顔をみたらわかる。視線があつたらにっこり笑ってほしい」と語った。



- 自身を思いを表現した。最後に「あざは障がいかな」という質問に関連して野中センター長は、社会福祉が充実しているスウェーデンでは「生きづらい」ということがない。それは、社会に障がいがないから。スウェーデンには障がい者がいないという話が紹介された。日本では、まだまだ生きづらさがあるので、その垣根を互いに超えていきたくてしめくくった。
- ◆各支部で旗びらき
- 1・6 新宮
 - 1・9 杭ノ瀬、平井、善明寺、那賀、湯浅
 - 1・10 岩橋、古和田、笠田東、御坊
 - 1・14 有田市
 - 1・15 名古曾
 - 1・16 岩出
 - 1・23 橋本
 - 1・27 鳴神

2010年を迎えて早1カ月が過ぎようとしている今日、私たち部落解放同盟にとって、非常に重要な年が進みはじめた。

1、狭山第3次再請求は、新たな局面を迎えている。昨年12月16日に2回目の三者会談(弁護士・裁判官・検察官)がひらかれ、裁判長から検察に対して「犯行現場」「筆跡」「自白」「死体」など8点にわたる証拠開示勧告がおこなわれた。狭山再審開始に向けて一歩前進したといえる。「勧告」が出されたからといって開示の手を緩めることなく全証拠の開示と石川無実を勝ち取らなければ

主張

人権・平和・環境を基軸に 松岡選挙必勝を勝ち取ろう!

田「麻生」と続いた自公政権のもとでは遅々として進まなかった。そのようななか、昨年8月の総選挙で、政権交代が実現し、民主党を中心とした「鳩山内閣」が成立した。新政権を担う各党のマニフェストから判

断しても「人権侵害救済法」が実現可能な段階に入った。私たちは、今国会での成立のため、与野党国会議員に対する働きかけはもちろんのこと、「実行委員会」を中心としたとりくみを強

化し「人権侵害救済法」の制定を勝ち取らなければならぬ。3、最も重要な開きとして、今年7月に予定されている参議院選挙において、部落解放同盟の組織内候補として、松岡とある中央書

書籍紹介 「命ひとつもろた」

～ききとり識字教材化委員会～

「ききとり識字教材化委員会」が75年から92年にかけて、大阪府内の被差別部落にききとり調査をおこなった貴重な一冊。「差別の現実を学ぶこと」「差別の歴史を語り継ぐこと」「自分たちの文化に誇りをもち大切にすること」という考えのもと、多くの方がたがききとりに協力しています。「字い知ってたら、うちのこと書いて渡したい」という語り手の言葉どおり、語り手が語る重みや切なさ、差別の厳しい時代に生き抜いた力強さは、生きた歴史としてつづられています。私たちの先輩が生きた時代によれてみませんか。

●注文・お問い合わせは県連まで
TEL 073(473)2301 FAX 073(473)2302